

2025 年 3 月 31 日

2024 年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 社会福祉法人大阪児童福祉事業協会

ホーム名 自立援助ホームそらまめ なでしこ

代表者・役職名 氏名 原 るみ子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成事業の名称

児童自立援助ホーム「そらまめ なでしこ」の老朽化した家電商品の買い替えによる住環境整備事業

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

施設を退所後、自立しても離職してホームレスとなっている子ども達の支援として、安心して生活できる場としての自立援助ホームの開設を、大阪府より当法人アフターケア事業部に要望され、男子ホームとして、平成 17 年(2005 年)に自立援助ホーム「ホームそらまめ」を、平成 21 年(2009 年)に、女子ホームとして、自立援助ホーム「そらまめ なでしこ」を開設した。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

女子ホームのそらまめ なでしこは、開所から15年目となり、開所時に購入したテレビ、エアコン、冷蔵庫は、老朽化し、早急に買い替える必要があります。リビングは入所者が集う大切な場所であり、居心地の良い、憩いの場を作ることがとても重要で、リビングの環境を整えることで、ホームで生活する子どもたちが心身共に健全に成長することができます。しかし、現状では、早急に改善すべき悪環境なので、子ども達が安全に過ごせ、心身ともに健康で、就労自立を目指す日々の生活を継続する上でも、環境を整える必要があります。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

リビングのテレビ、エアコン、冷蔵庫が不調のため、新しく買い替えることで、リビングの住環境を改善したいと考えています。テレビは朝1時間経過したら映らなくなり、エアコンはコンプレッサーが不良で温度調整ができず、冷蔵庫は冷えが悪く、2001年製造品のため修理不可能とのこと、この状態で使用を続けることは困難です。

これらを新しく購入して、ホームでの生活が、明るく楽しくなるように、住環境を改善したいと考えます。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

この度のご助成のおかげで、テレビ、エアコン、冷蔵庫を新しくすることができ、子どもたちが過ごすリビングの環境を改善することができました。リビングで過ごす子どもたちの会話や笑顔が増え、毎日のリラックスできる時間が、子どもたちにとって精神的な安定となり、それは学業や就労意欲の向上に繋がっています。また、一人で部屋で過ごすことが多かった子どもも、リビングでみんなと過ごす時間が多くなり、その結果、コミュニケーション力の向上や、職員とも良い関係が築けています。子ども達が元気で過ごせていることが施設全体の大きな活力になっています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

この度、リビングの環境を改善したことで、子どもたちの精神面や行動の変化が見て取れ、リビングという共同スペースを子どもたちや職員も含めて、どのように活用していくべきかを、改めて考えるきっかけとなりました。居心地の良いリビングは、子どもの精神面においても明らかにプラスであり、今後も居心地の良いリビングを維持していくが大切だと痛感しました。

これからも、子ども達が安心して生活できるホーム作りを心掛けるとともに、子ども達の自立支援に職員一同、努めてまいります。ご支援いただきありがとうございました。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

